

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Cohesity 社のハイパーコンバージド型ストレージを取り扱い開始
バックアップやアーカイブ、開発、テストなどの用途のストレージを統合

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、米 Cohesity Inc. (コヒシティ、CEO and Founder: Mohit Aron、本社:米国カリフォルニア州、以下:Cohesity 社)の日本法人 Cohesity Japan 株式会社(代表取締役:Rob Salmon、本社:東京都港区)と代理店契約を締結し、バックアップ、開発、テストなどの用途のストレージを統合するハイパーコンバージド型ストレージ「Cohesity C2000/C3000 シリーズ」の取り扱いを本日から開始します。

CTC は、Cohesity 社製品を使用したストレージシステムの構築や運用サービス、データ利用状況の診断サービスを併せて提供し、サービスプロバイダー、製造業、流通業の企業を中心に、3年間で20億円の売上を目指します。

バックアップやアーカイブ、ファイル、開発、分析などのデータは、企業データの約8割を占めると言われており、保管には統合の進んだストレージとは別のストレージ(セカンダリストレージ)が使用される場合が多いです。このようなセカンダリストレージ上のデータは、日々増加する一方で、様々な場所に分散して保管される傾向にあり、システムの効率化やセキュリティへの対応という観点から統一的な管理が求められています。

Cohesity 社のハイパーコンバージド型ストレージ「Cohesity C2000/C3000 シリーズ」は、分散しているセカンダリストレージを統合するものです。NFS や SMB、S3 の一般的なストレージのプロトコルに対応し、グローバル重複排除*1と高度な圧縮技術による使用量の削減や、クラウドを含めたストレージの統合管理を実現します。また、データの増加に合わせてパフォーマンスを落とさずに拡張できるため、初期投資を抑えた導入が可能です。Cohesity C2000/C3000 シリーズを使用することで、お客様は既存システムでの投資を無駄にすることなく、データ活用を促進する統合基盤の構築が実現できます。

CTC では、既にオンプレミスやクラウドでの大規模なストレージシステム構築実績があり、Cohesity C2000/C3000 シリーズの取り扱いに併せて構築や運用などをサポートします。また、既存環境についてのデータ利用状況の診断、各種システムとの連携、データ移行などのサービスも提供していきます。

*1 グローバル重複排除:バックアップサーバ側で行う重複排除。これに対しクライアント側で行う処理をローカル重複排除という。

※ 記載されている商品名などのその他の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp